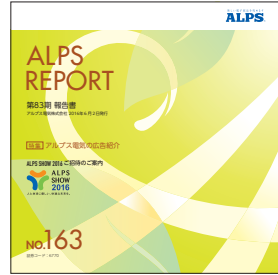
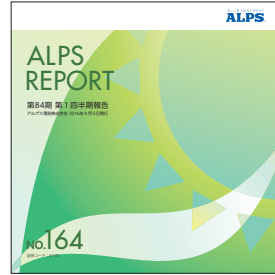


隠れた「ALPS」発見

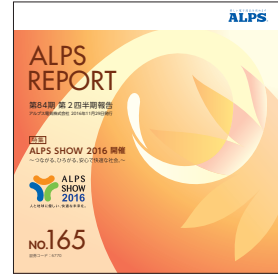
昨年6月発行の163号よりリニューアルしたALPS REPORT。各号の表紙は「A」「L」「P」「S」のアルファベットをモチーフにデザインしました。皆様お気づきでしょうか。今後も皆様に楽しんでご覧頂けるよう工夫を続けてまいります。



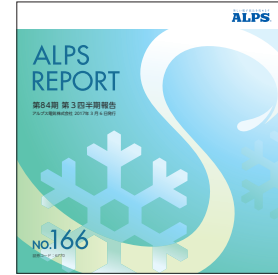
表紙 163号 [A]



表紙 164号 [L]



表紙 165号 [P]



表紙 166号 [S]

■ 株主メモ (2016年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日	上場証券取引所	東京(第一部)証券コード6770
基準日	定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日 期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日 中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日 その他あらかじめ公告して定めた日	1単元の株式数	100株
定時株主総会	毎年6月下旬	株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
公告掲載	電子公告により、当社ホームページ (http://www.alps.com/j/ir/index.html) に 掲載します。なお、やむを得ない事由により、 電子公告ができない場合は、日本経済新聞に 掲載します。	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

三菱UFJ信託銀行証券代行部

株式事務に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行証券代行部
テレホンセンター

●お問い合わせ

0120-232-711

(受付時間: 土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

●住所変更等諸届用紙ご請求

0120-244-479

(24時間受付)

ALPS REPORT

第84期 第3四半期報告

アルプス電気株式会社 2017年3月6日発行

No.166

証券コード: 6770



アルプス電気株式会社 代表取締役社長 栗山年弘

皆様へ

春寒しだいに緩み、桜の開花が待ち遠しい季節となりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2016年のエレクトロニクス業界は、自動車市場では中国での小型車減税による需要増をはじめ、欧米でも好調を維持しました。モバイル市場では、高付加価値モデルを擁する中国スマートフォンメーカーが躍進し、北米メーカーの新型機種も堅調に推移。また、VR(バーチャルリアリティ)製品の市場投入で、関連技術に注目が集まるなど、新しい動きも活発化しています。

この状況下、当社では車載市場向け製品で、引き続き通信モジュールを中心に堅調さを維持し、モバイル市場でもスマートフォン向けコンポーネント製品が着実に推移しました。EHII市場向けでは、各種展示会等でIoTによる実例を交えた各種ソリューション提案も進めるなど、第3四半期は、前年同期に比べ為替の円高による影響を受けながらも堅調に推移しました。

さて、私は1月に業界各社が開いた数多くの新年賀詞交換会に参加してきました。今年は「不確実性」という言葉が、政治の世界だけでなく経済界でもキーワ

ドになっているという印象を受けました。当社の行動指針である「Vigilant」という言葉は、「将来起こり得るネガティブなことに注視し続け、油断をするな」というのが本来の意味であり、まさに今年に相応しい行動指針だと感じています。

昨年末、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)から、「2017年電子情報産業の見通し」が発表されました。当社の属する「電子部品・デバイス」の世界生産額は22兆円で、2016年度比3%の微増が予想されています。

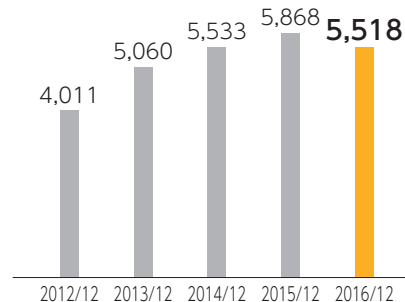
この中で当社では、「今年も決して楽観視できない」と緊張感を持った事業活動を進め、自動車、モバイル、IoTなどEHII各市場での新しい動きを捉え、HMI、センサ、コネクティビティの三つの技術領域による新製品開発を加速させます。

皆様には、今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しく申し上げます。

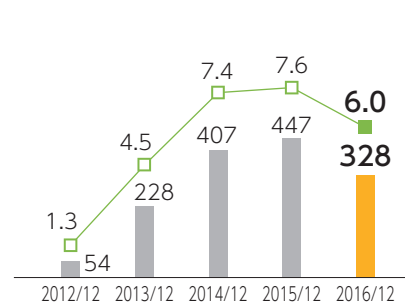
EHII: Energy, Health care, Industry, IoT (エネルギー、ヘルスケア、インダストリー、IoT)
IoT: Internet of Things (インターネット・オブ・シングス)
HMI: Human Machine Interface (ヒューマン・マシン・インタフェース)

〔連結業績の概況〕

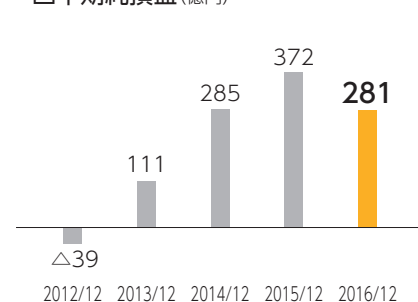
売上高(億円)



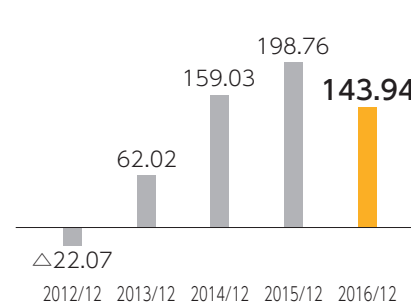
営業利益 営業利益率(億円/%)



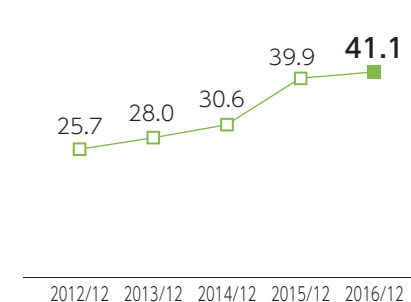
親会社株主に帰属する四半期純損益(億円)



1株当たり四半期純損益(円)



自己資本比率(%)



通期の見通し(2017年1月27日修正開示)

2017年3月期 業績予想	
売上高	7,430億円(前期比 △4.0%)
営業利益	420億円(前期比 △19.7%)
経常利益	410億円(前期比 △18.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	310億円(前期比 △20.6%)

※想定為替レート:米ドル/円 110.00・ユーロ/円 117.00

10月 October 2016年

ITS(高度道路交通システム)の普及推進を目的とする「ITS世界会議2016」(オーストラリア・メルボルン)で、V2Xの取り組みを発表

アルプス上海国際貿易が「World Internet of Things Exposition 2016」(中国・無錫)に出展

11月 November

台湾アルプスが台湾の経済団体より優良外商として表彰

各種白物家電向け「静電容量式デジタル温湿度センサ」量産開始を発表

アルプス・ヨーロッパが世界最大級の電子部品専門展「Electronica 2016」(ドイツ・ミュンヘン)に出展

丹東アルプスで創立10周年記念式典実施

12月 December

当社社員が職業能力開発関係表彰式で、宮城県卓越技能者(宮城の名工)として表彰

1月 January 2017年

世界最大規模のエレクトロニクス見本市「CES2017」(アメリカ・ラスベガス)に出展

2016年度第3四半期決算、業績上方修正を発表

世界最大規模のエレクトロニクス見本市「CES2017」(アメリカ・ラスベガス)に出展

IoTやエネルギー、ヘルスケアなど新市場の海外での事業展開を目指し、当社は1月5日～8日に開催された「CES2017」に初出展しました。

世界最大規模のエレクトロニクス見本市であるCESでは、今回AI(人工知能)を応用した自動運転車やスマートホーム、家電などさまざまな分野での事例が数多く紹介され、世界各国からの来場者でにぎわいました。

当社ブースでは、HMIやIoT、Autoデバイスを紹介。中でもさまざまな触感を生み出す「ハプティック®」の実働展示である、ハプティック®トリガーやハプティック®リアクタは体感されたお客様から大変好評を頂き、当社技術力の高さを印象付けるとともに、次期ビジネスへの足掛かりとなりました。

当社は、今後も新市場でのビジネス強化・新規顧客獲得に向けて、グローバルでの積極的な活動を進めます。

ハプティック®は当社の登録商標です。



多くの来場者でにぎわうCES会場



当社ブース外観

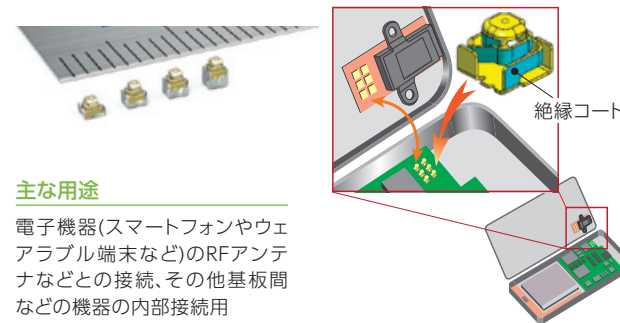


好評を得た「ハプティック®」の実働展示

注目の新製品

安定した高周波性能が求められるデバイスの接続へ

圧接コンタクト絶縁コート付タイプ



主な用途

電子機器(スマートフォンやウェアラブル端末など)のRFアンテナなどの接続、その他基板間などの機器の内部接続用

圧接コンタクトは、スマートフォンなどの電子機器内部の基板同士や基板と電子部品などを電氣的に接続する部品です。

今回、新たにラインアップに追加した本製品は、内部で電子信号経路を一定にするための絶縁コートを施したものです。これによりアンテナの接続など、安定した高周波性能が求められるデバイスの接続に最適です。また、従来品同様、業界最小サイズ*の1.4mm角は、小型低背ニーズが強いモバイル機器以外にも、産業機器など幅広い市場への展開も期待されます。

*当社調べ

アルプス電気の
広告紹介
vol.4



ものづくりにかける思いを
広告にしました。
前号の「Green・環境」編に続き、
「Connectivity」編をご紹介します。



車に乗る人も、乗らない人も、心から安心できる車社会にするために、私たちの電子部品は「つなげる技術」を磨き続けています。例えば、世界で40%のシェアをもつ車載用通信モジュール、他の車とつなぐ、歩行者のスマホとつなぐ、信号機など路上の設備と、衛星やクラウドと、つなぐ。膨大な情報を緻密にやり取りすることで、ドライバーの死角やうっかりミスに対応し、さらには自動運転化にも貢献していきます。未来は事故ゼロへつながっている。私たちは固くそう信じています。生き生きとした細胞が生き生きとした命を作るように、小さく柔軟な電子部品で、暮らしに、未来に、新たな息吹を吹き込む。私たちはアルプス電気です。

世の中を動かす
細胞。アルプス



美しい電子部品を究めます
ALPS
アルプス電気株式会社 www.alps.com/jp
それぞれの方で、つながる力で、新たな価値を創造するアルプスグループ。
ALPINE Driving Halls, Halls Innovation アルプス電気の電子部品

2016年4月5日 日本経済新聞掲載

見えない所で安全を願うもの。家で待つ家族、そして小さな電子部品。

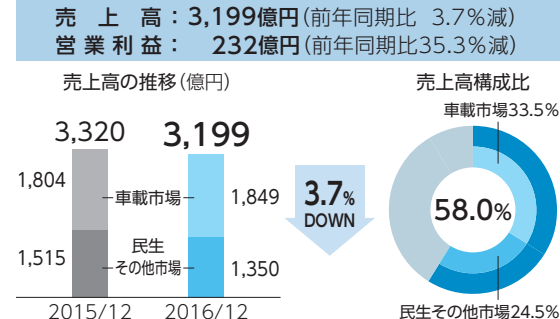
車に乗る人も、乗らない人も、心から安心できる車社会にするために。私たちの電子部品は「つなげる技術」を磨き続けています。例えば、世界で40%のシェアをもつ車載用通信モジュール。他の車とつなぐ。歩行者のスマホとつなぐ。信号機など路上の設備と、衛星やクラウドと、つなぐ。膨大な情報を緻密にやり取りすることで、ドライバーの死角やうっかりミスに対応し、さらには自動運転化にも貢献していきます。未来は事故ゼロへつながっている。私たちは固くそう信じています。

電子部品事業



為替変動を受けながらも堅調に推移

車載市場では通信モジュールを中心に堅調さを維持し、モバイル市場ではスマートフォン向けコンポーネント製品が堅調に推移しました。EHI市場では、各種展示会などでIoTを活用したさまざまなソリューション実例を交えて紹介するなど、積極的な提案活動を進め、前年同期に比べ為替の影響を受けながらも堅調に推移しました。



車載市場 エレクトロニクス化が進展する中で堅調推移

自動運転の一部実用化に伴い、情報通信やAIの研究開発が加速する中、車載用通信モジュールや各種操作入力用モジュールなど、全般にわたって堅調に推移しました。また、HMI、センサ、コネクティビティを融合した車載モジュールなど新たな提案も展開しました。

民生その他市場 スマートフォン向け製品が順調に推移

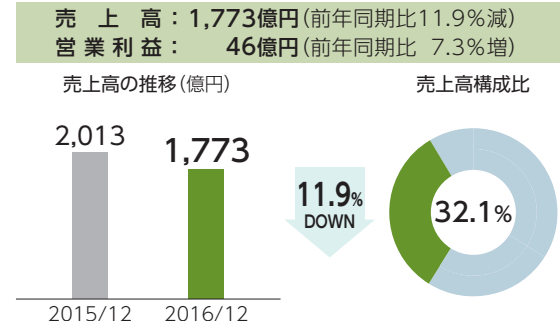
モバイル市場ではカメラ用アクチュエータ、スイッチを中心としたスマートフォン向け製品が、中国メーカーの高機能化や北米メーカーの堅調さなどによって順調に推移しました。

車載情報機器事業



中国でのEV市場の急拡大に伴い、開発機能を強化

アルパイン(株)(東証一部)では、中国でEV(電気自動車)市場が急拡大する中、次世代バッテリー制御システムの開発などEV関連事業に注力している持分法適用会社の資本増強を実施し、開発機能の強化を図りました。為替変動の影響を大きく受けながらも堅調に推移しました。

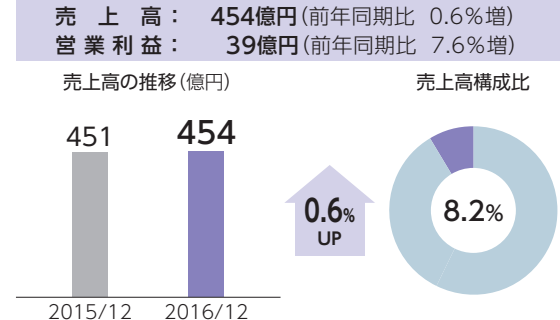


物流事業

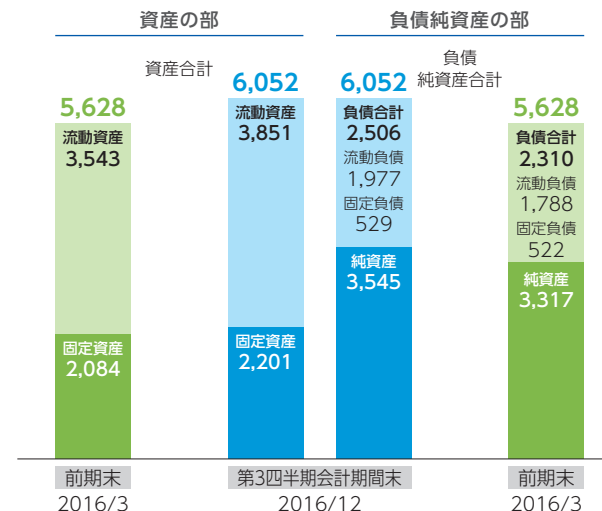


アセアン地域において物流インフラの強化とグローバル成長を推進

(株)アルプス物流(東証二部)では、国内では倉庫の新設や、九州や北陸地区の輸送ネットワークの拡充を図りました。また、重点戦略地域のアセアン地域において、物流インフラの強化と今後のグローバル成長を推進しました。



連結貸借対照表の概要(億円)



ポイント

① 流動資産

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加と現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ307億円増加の3,851億円となりました。

② 固定資産

固定資産は、機械装置及び運搬具、繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ116億円増加の2,201億円となりました。

③ 負債合計

流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金、未払法人税、未払費用等の増加と賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比べ189億円増加の1,977億円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加と繰延税金負債の減少等により、前連結会計年度末と比べ6億円増加の529億円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移(億円)

※内訳には連結消去を含んでおりません。

